

令和 6 年度

龍ヶ崎市

予算の概要



令和6年2月

目 次

1. 予算編成にあたって	1
2. 令和6年度予算のポイント	2
3. 令和6年度の主な事業と財源内訳	4
4. 令和6年度龍ヶ崎市主要事業マップ	6
5. 主要事業マップ掲載事業予算一覧	8
6. 一般会計予算を市民1人あたりでみると	9
7. 各会計の状況	
(1) 一般会計	10
(2) 特別会計	
① 国民健康保険事業特別会計	12
② 介護保険事業特別会計	13
③ 児童発達支援事業特別会計	14
④ 後期高齢者医療事業特別会計	14
(3) 下水道事業会計	15
8. 性質別歳出予算の状況	16
9. 一般財源の推移	17
10. 将来の財政負担額の推移	18
11. 引上げ分の地方消費税収 (社会保障財源化分の地方消費税交付金) が充てられる社会保障施策に要する経費	19
12. 一般会計予算を家計にたとえると	20

【表紙：龍ヶ崎市市制施行70周年記念ロゴマーク】

「つないだ時を未来に運ぶ龍」を図案化。牛久沼から現れた街のシンボルでもある龍が旧城龍ヶ峰を超え、70年つなぎ続けられてきた歴史の輪をくぐり、これからの未来に向かって笑顔で元気に翔け昇る、というイメージのデザイン。

1. 予算編成にあたって

令和6年は、市制施行70周年と辰年が重なるスペシャルイヤー。「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の取り組みを本格化させる、「龍ヶ崎市の年」です。

本市は、令和6年3月20日に市制施行70周年という節目を迎えます。令和6年度においても、引き続き市民の皆さんと龍ヶ崎市の「古希」をお祝いするための事業・イベントを展開してまいります。さらに、この節目が「辰年」という運命的な巡りあわせでもあり、令和6年はまさに「龍ヶ崎市の年」と捉えています。

振り返れば、これまで、台風や地震などの自然災害、新たな感染症の蔓延、さらには社会のグローバル化や少子化に端を発する人口減少・地域経済の縮小など、経験や想定もしなかった事象や時代の潮流による、市政運営を取り巻く厳しい環境に、市民に最も近い基礎自治体として、しっかりと役割を果たすべく、対応してまいりました。

令和6年度は、エネルギー価格の高騰や円安の進行による物価の上昇と、それに対応した賃上げなどにより、歳出圧力が高まる厳しい状況にあっても、将来に向けた本市のあるべき姿を実現し、様々な行政課題を打破すべく、本市の最上位計画である、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の取り組みを軌道に乗せ、さらには充実を図るため、「未来創造プロジェクト」、「魅力創造プロジェクト」、「幸せ創造プロジェクト」の3つのリーディングプロジェクトに、重点的かつ優先的に取り組みます。

また、本市の小中一貫教育のモデルとなる「長山中学校区小中一貫校」や、「新保健福祉施設」の整備がそれぞれ本格化するほか、「遊び」「レクリエーション」の分野では、市内外の皆さんに親しまれご利用いただいている「森林公園」を、民間の力をお借りして、より魅力あふれる施設になるようリニューアルいたします。

様々な行政課題を克服しながら、本市を茨城県南の中心的な都市として成長させてきた先人や関係各位に改めて感謝申し上げるとともに、つないだ時を未来へ残すための様々な取り組みを今後も着実に紡ぎながら、「龍ヶ崎の新時代」、輝かしい未来への思いを、市民の皆さんとともに共有し続けたいと切に願っております。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

龍ヶ崎市長 萩原 勇

2. 令和6年度予算のポイント

一般会計予算は307億9,600万円、前年度比30億2,600万円(10.9%)増

令和6年度の龍ヶ崎市一般会計予算は、高齢化の進展、物価高の影響が続く中、先送りのできない小中一貫校をはじめとした大型建設事業に加え、新たな需要に対する助成、道路・公園の除草作業などの地域活動や市民生活に密着した事業の拡充で予算規模は拡大しました。










歳入の基幹をなす市税は、住民税の定額減税や固定資産税の評価替えの影響で減収となりましたが、定額減税の減収を補填する定額減税減収補てん特例交付金を合わせると前年度と同水準で推移しています。一般財源の総額は、地方消費税交付金等の減額等の下振れ要因を5年度算定基準に地方財政対策等を踏まえた地方交付税の増額が上回り、前年度を上回る水準を確保しました。

歳出は、給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当支給などの制度改正に伴う人件費の増や障がい福祉サービス給付を中心とした扶助費の伸びで、義務的経費が増加しました。普通建設事業は、小中一貫校をはじめとした大型の建設事業が6年度から7年度にかけてピークを迎えます。これらの大型事業に対する市債の発行で将来負担が増加、また、特定目的基金の活用で基金残高が減少する見通しです。






収支ギャップは、光熱費の高騰を主な要因として膨らんだ令和5年度と比べ、1,000万円増の6億円と高止まりし、財政調整基金の繰入で対応しています。

特別会計は、高齢化の進展で介護保険事業及び後期高齢者医療事業特別会計の予算規模は拡大を続け、一般会計からの繰入金の増加が収支ギャップの増額要因の1つとなっています。また、発達に課題を抱える未就学児や小学生の療育の機能充実を念頭に、つぼみ園を見守り支援センター化したことに合わせ、児童発達支援事業特別会計に会計名を変更しています。




未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～

若者結婚新生活補助事業(新生活のスタートに最大10万円を補助)	704万円
 若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業(35歳未満の子育て世帯に対する賃貸住宅契約更新補助)	356万円
出産・子育て応援パスポート事業(妊娠時5万円・出産時5万円相当の電子クーポン支給)	4,163万円
子育てスマイルパスポート事業(1～6歳までの子育て世帯に5千円相当の電子クーポン支給)	1,316万円
 産後ケア事業の推進(5回目まで利用負担額を引き下げ)	323万円
 1か月児健康診査の無償実施	219万円
 つぼみ園児童発達支援センター化(公認心理師・保育士の常勤配置・未就学児無償化)	6,124万円
 適応指導教室体制推進事業(適応指導教室運営員の配置)	203万円
 地域部活動推進事業(部活動地域移行に向けたモデル事業)	671万円 
長山中学校区小中一貫校施設整備事業※3か年継続事業(総額43億2,703万円)	17億1,004万円 
 大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業(令和7年度4月統合)	4,147万円

魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

森林公園リニューアル(夏頃一部施設プレオープン予定)	6億7,194万円 
※2か年継続事業(総額6億7,701万円)	
 都市公園の快適性向上(龍ヶ岡公園・北竜台公園・牛久沼水辺公園の除草作業の拡充)	3,274万円
 オリピック応援事業(本市ゆかりのオリピック出場選手を応援)	284万円
 地域活性化起業人の活用(民間人材による地域ブランディング支援)	330万円

幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～




新保健福祉施設建設事業(ZEB化により脱炭素化を推進)	8億7,819万円 
※2か年継続事業(総額14億3,590万円)	
 高齢者補聴器購入補助制度(補聴器購入費1人あたり最大3万円補助)	301万円
 若柴長山前南部地区地区計画策定事業(幹線道路沿道の土地利用促進)	382万円

義務的経費の増、大型建設事業の本格化で予算規模が拡大








会計別予算の状況		令和6年度	令和5年度	比較	増減率
一般会計		307億9,600万円	277億7,000万円	30億2,600万円	10.9%
特別会計	国民健康保険事業	71億7,400万円	75億9,800万円	△4億2,400万円	△5.6%
	介護保険事業	64億800万円	59億7,000万円	4億3,800万円	7.3%
	児童発達支援事業	1億250万円	8,800万円	1,450万円	16.5%
	後期高齢者医療事業	20億3,300万円	19億8,500万円	4,800万円	2.4%
	特別会計合計	157億1,750万円	156億4,100万円	7,650万円	0.5%
総計		465億1,350万円	434億1,100万円	31億250万円	7.1%
下水道事業会計		37億9,900万円	37億2,320万円	7,580万円	2.0%

 **新規**  **拡充**


防災・減災対策の推進

 避難所環境改善事業(龍ヶ崎中学校柔剣道場に空調機を設置)	8,109万円	◆
 防災備蓄施設改修事業(旧学校給食センター第一調理場を改修)	2,000万円	◎
 水防対策備品の購入(水のう・止水板等)	771万円	




その他の主な事業

 要支援者移送事業(社会福祉協議会と連携した移動制約者への移送サービスの提供)	332万円	
 災害時一時宿泊費助成事業(罹災後一時避難宿泊費補助)	20万円	
 带状疱疹ワクチン接種補助制度(ワクチン接種費用に対する補助)	1,986万円	◆
 HPVワクチン任意接種補助制度(ワクチン接種費用に対する補助)	89万円	◆
 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業(住宅の脱炭素化を促進)	201万円	
 スマート農業支援事業(スマート農業技術の導入促進)	500万円	◎
 多文化共生社会構築事業(多言語生活情報サービスの作成)	159万円	

市制施行70周年記念事業

 プレミアム付き商品券発行(プレミアム率20%)	5,000万円	◎
全国コロケフェスティバルの開催	346万円	

公共施設再編成の取組・インフラの新設等

新長戸コミュニティセンター建設事業(ZEB化により脱炭素化を推進)	1億8,797万円	
※2か年継続事業(総額4億7,248万円)		
市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業(R5補正前倒し1億7,940万円)	1億8,634万円	
 幹線道路除草作業の拡充(除草作業回数・路線の拡充)	1,000万円	
 通学路安全対策事業(グリーンベルト等設置)	1,500万円	
 ごみ処理広域化推進事業(廃棄物の広域的な処理・廃棄物処理施設の集約化等調査・検討)	220万円	

◎は「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◆は、次頁以降、事業の内容と財源の内訳について、ご紹介します。

3. 令和6年度の主な事業と財源内訳

令和6年度の主な事業の一部について、事業の内容と財源の内訳をご紹介します(写真等はイメージ)。

長山中学校校区小中一貫校施設整備事業(継続)

市内最初のモデル校である施設一体型小中一貫校を整備し、義務教育9年間における系統的な学びを目指す「小中一貫教育」を推進します(令和9年度開校予定)。

○小中一貫校施設整備事業 **43億2,703万円** ※3か年継続事業総額 (R6~8)

国からの補助 12億6,352万円	交付税 7億4,300万円	市の負担 23億2,051万円
----------------------	------------------	--------------------



森林公園リニューアル事業(継続)※最終年度

民間のノウハウを活用した官民連携事業(Park-PFI)を活用しながら魅力のある公園へのリニューアルを実施します。キャンプ及びバーベキュー機能は残しつつ、一日中遊べる・楽しめるアウトドア・アクティビティの交流拠点として生まれ変わります。

○森林公園リニューアル事業 **6億7,701万円** ※2か年継続事業総額 (R5~6)

国からの補助 2億7,710万円	交付税 7,870万円	市の負担 3億2,121万円
---------------------	----------------	-------------------



新保健福祉施設建設事業(継続)※最終年度

令和7年度供用開始を目指して、健康づくりや子育ての総合的な支援、福祉機能を集約し、「市民が生涯にわたり健康で安心して暮らし続けるための支援拠点」となることを基本理念とする新保健福祉施設を整備します。

○新保健福祉施設建設事業 14億3,590万円 ※2か年継続事業総額 (R5~6)

国からの補助 955万円



県からの補助 2,430万円



避難所環境改善事業(新規)

災害時に避難所として活用する、龍ヶ崎中学校体育館の柔剣道場への空調整備により、避難所環境を改善し、防災力強化を図ります。

○避難所環境改善事業 8,109万円

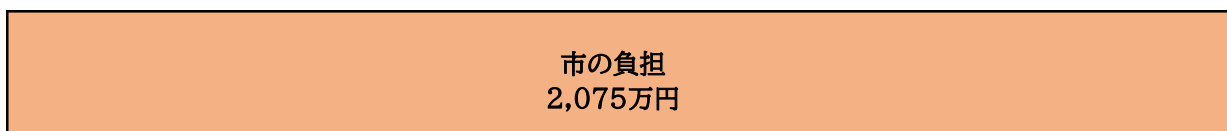


带状疱疹・HPVワクチン接種助成事業(新規)

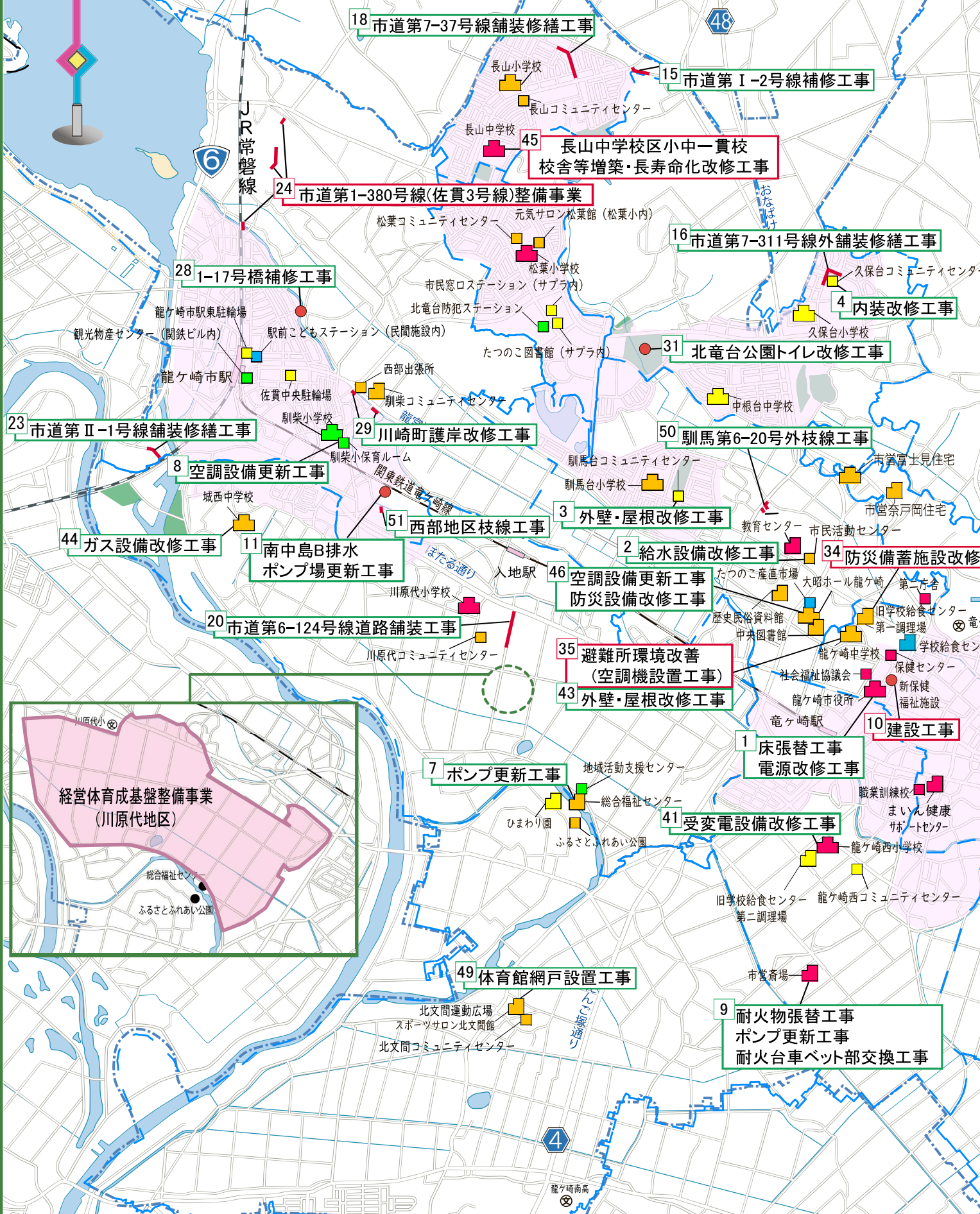
带状疱疹の発症率低減及び重症化予防に効果的な带状疱疹ワクチン並びに小6~高1までの接種を希望する男性へHPVワクチン接種費の一部助成を行うことで、接種機会を確保し、接種希望者の経済的負担軽減、感染予防を図ります。なお、HPVワクチン接種費の助成は県内初の取り組みとなります。

○带状疱疹ワクチン接種助成事業 1,986万円

○HPVワクチン任意接種助成事業 89万円

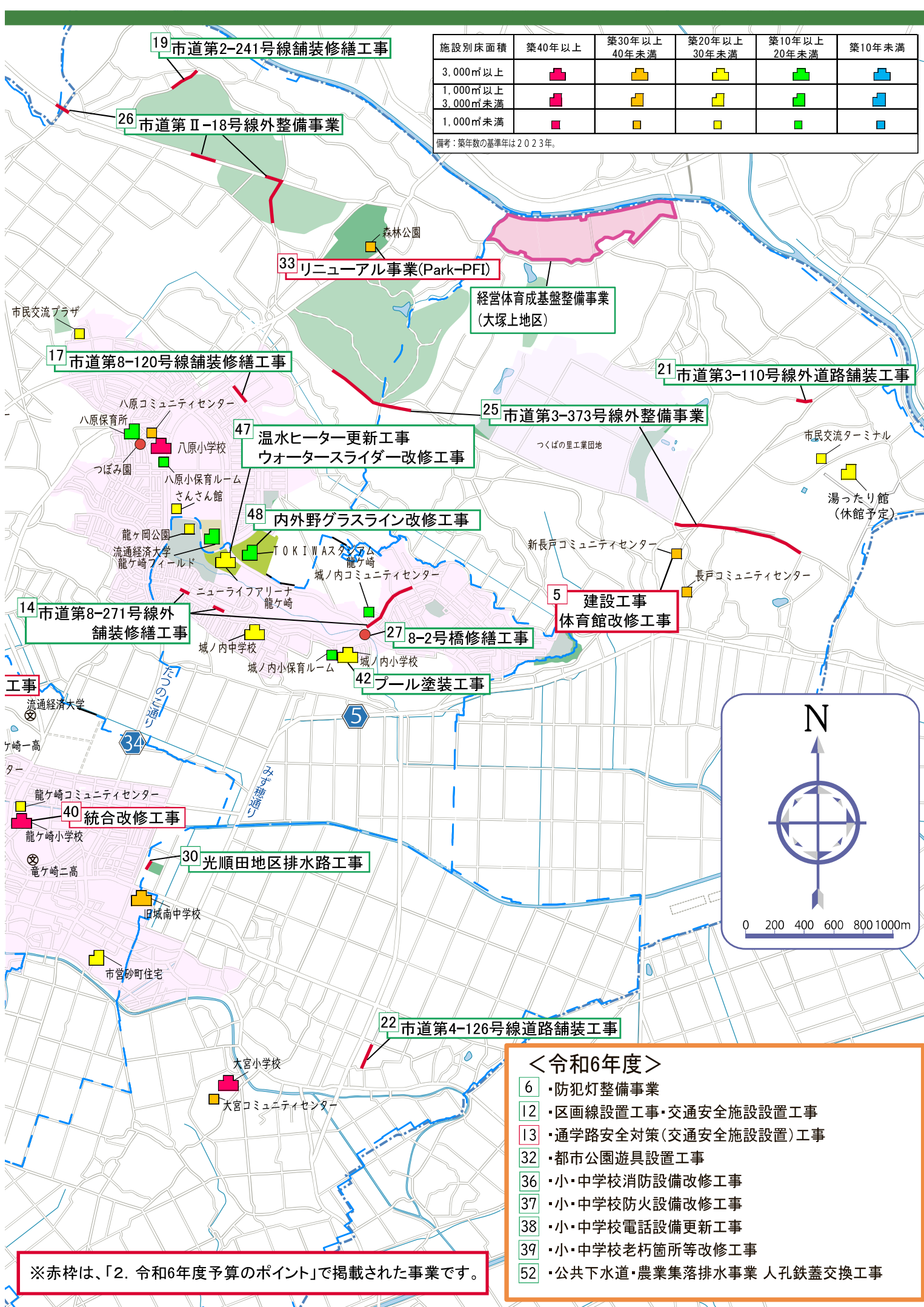


4.令和6年度龍ヶ崎市主要事業マップ



施設別床面積	築40年以上	築30年以上 40年未満	築20年以上 30年未満	築10年以上 20年未満	築10年未満
3,000㎡以上	■	■	■	■	■
1,000㎡以上 3,000㎡未満	■	■	■	■	■
1,000㎡未満	■	■	■	■	■

備考：築年数の基準年は2023年。



19 市道第2-241号線舗装修繕工事

26 市道第Ⅱ-18号線外整備事業

33 リニューアル事業(Park-PFI)

経営体育成基盤整備事業
(大塚上地区)

17 市道第8-120号線舗装修繕工事

21 市道第3-110号線外道路舗装工事

47 温水ヒーター更新工事
ウォーターライダー改修工事

25 市道第3-373号線外整備事業

48 内外野グラスライン改修工事

5 建設工事
体育館改修工事

14 市道第8-271号線外
舗装修繕工事

27 8-2号橋修繕工事

42 プール塗装工事

40 統合改修工事

30 光順田地区排水路工事

22 市道第4-126号線道路舗装工事

<令和6年度>

- 6 ・防犯灯整備事業
- 12 ・区画線設置工事・交通安全施設設置工事
- 13 ・通学路安全対策(交通安全施設設置)工事
- 32 ・都市公園遊具設置工事
- 36 ・小・中学校消防設備改修工事
- 37 ・小・中学校防火設備改修工事
- 38 ・小・中学校電話設備更新工事
- 39 ・小・中学校老朽箇所等改修工事
- 52 ・公共下水道・農業集落排水事業 人孔鉄蓋交換工事

※赤枠は、「2. 令和6年度予算のポイント」で掲載された事業です。

5. 主要事業マップ掲載事業予算一覧

地図番号	施設又は事業名称及び工事概要	予算額(千円)	
1	市役所本庁舎	3,531	
	床張替工事	2,189	
	電源改修工事	1,342	
2	市民活動センター	5,841	
	給水設備改修工事	5,841	
3	駒馬台コミュニティセンター	15,521	
	外壁・屋根改修工事	15,521	
4	久保台コミュニティセンター	6,765	
	内装改修工事	6,765	
5	新長戸コミュニティセンター	185,300	
	建設工事	173,300	
	体育館改修工事	12,000	
6	防犯灯整備事業	1,582	
	防犯灯設置工事	1,582	
7	総合福祉センター	1,243	
	ポンプ更新工事	1,243	
8	学童保育ルーム(馴柴小学校)	2,556	
	空調設備更新工事	2,556	
9	市営斎場	9,698	
	耐火物張替工事	5,445	
	ポンプ更新工事	2,548	
	耐火台車ベット部交換工事	1,705	
10	新保健福祉施設	740,286	
	建設工事(建築・電気・設備)	740,286	
11	道路排水管理費	4,617	
	南中島B排水ポンプ場更新工事	4,617	
12	交通安全施設整備事業	30,000	
	区画線設置工事	20,000	
	交通安全施設工事	10,000	
13	通学路安全対策事業	15,000	
	交通安全施設工事	15,000	
14	道路改良事業	124,500	
	市道第8-271号線外舗装修繕工事	23,000	
	市道第I-2号線補修工事	18,000	
	市道第7-311号線外舗装修繕工事	16,000	
	市道第8-120号線舗装修繕工事	15,500	
	市道第7-37号線舗装修繕工事	14,000	
	市道第2-241号線舗装修繕工事	10,000	
	市道第6-124号線道路舗装工事	9,000	
	市道第3-110号線外道路舗装工事	7,000	
	市道第4-126号線道路舗装工事	7,000	
	市道第II-1号線舗装修繕工事	5,000	
	24	市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業	365,732
		※ 道路改良工事外(土地購入費・工事費負担金等を含む)	365,732
	25	市道第3-373号線外整備事業	163,000
※ 道路補修工事		163,000	
26	市道第II-18号線外整備事業	130,000	
	※ 舗装修繕工事	130,000	










地図番号	施設又は事業名称及び工事概要	予算額(千円)
27	橋梁維持補修事業	205,000
	※ 8-2号橋修繕工事	185,000
	※ 1-17号橋補修工事	20,000
29	排水路整備事業	77,000
	川崎町護岸改修工事	70,000
	光順田地区排水路工事	7,000
31	都市公園管理費	34,593
	北竜台公園トイレ改修工事	17,464
	遊具設置工事	17,129
33	森林公園	671,940
	リニューアル事業(Park-PFI)(土地購入費・工事費負担金等)	671,940
	旧学校給食センター第一調理場	20,000
34	防災備蓄施設改修工事	20,000
	龍ヶ崎中学校柔剣道場	81,081
35	避難所環境改善(空調機設置工事)	81,081
	小・中学校共通管理費	36,213
36	消防設備改修工事	7,000
	防火設備改修工事	7,500
	電話設備更新工事	6,213
	その他老朽箇所等改修工事	15,500
	小学校(個別)	62,414
40	龍ヶ崎小学校統合改修工事	29,480
	龍ヶ崎西小学校受変電設備改修工事	23,947
	城ノ内小学校プール塗装工事	8,987
43	中学校(個別)	121,891
	龍ヶ崎中学校外壁・屋根改修工事	118,866
	城西中学校ガス設備改修工事	3,025
45	長山中学校区小中一貫校	1,690,000
	校舎等増築・長寿命化改修工事	1,690,000
46	大昭ホール龍ヶ崎	67,463
	空調設備更新工事	66,594
	防火設備改修工事	869
47	ニューライフアリーナ龍ヶ崎	41,156
	温水ヒーター更新工事	31,751
	ウォータースライダー改修工事	9,405
48	TOKIWAスタジアム龍ヶ崎	4,538
	内外野グラスライン改修工事	4,538
49	北文間運動広場	1,843
	体育館網戸設置工事	1,843
50	公共下水道事業	39,000
	馴馬第6-20号外枝線工事	25,000
	西部地区枝線工事	9,000
	人孔鉄蓋交換工事	5,000
	農業集落排水事業	5,000
52	人孔鉄蓋交換工事	5,000

□赤枠は、「2.令和6年度予算のポイント」で掲載された事業です。

※令和5年国の補正予算(第1号)で予算措置を前倒したものを含む。

6. 一般会計予算を市民1人あたりで見ると

令和6年度 市民1人あたりの予算(一般会計)は、407,845円です。
それを支える市民1人あたりの負担(市税)は、130,673円です。

<p>総務費</p> <p>53,527円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ活動の充実や市の企画・財政・人事など効率的な行政運営、シティプロモーション活動などのために 	<p>民生費</p> <p>151,188円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援とともに、お年寄りや障がいのある人、生活に困窮する人のために 	<p>衛生費</p> <p>43,635円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりの推進やごみの減量など環境を守るために 
<p>農林水産業費</p> <p>6,255円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の特性を活かした農業振興のために 	<p>土木費</p> <p>33,923円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路・公園・下水道などの都市基盤の整備と魅力あるまちづくりのために 	<p>消防費</p> <p>16,597円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民の生命・財産を守る、消防力の強化と緊急時における防災・減災体制の充実のために 
<p>教育費</p> <p>64,812円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校教育や生涯学習、青少年育成、文化・スポーツ振興のために 	<p>公債費</p> <p>30,869円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市債(借金)の返済のために 	<p>議会費・商工費など</p> <p>7,039円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●議会活動の充実のために ●にぎわい創出や企業の発展、雇用創出のために 

(注) 各項目の数値は、予算額を令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口(75,509人)で除したものです。

7. 各会計の状況

(1) 一般会計

歳入 市税は前年度と同水準(定額減税減収補てん特例交付金含む)。大型建設事業の影響で市債は増。

- ↑ 一般財源 171億582万円(前年度比+3億784万円、+1.8%)
- ↓ 市税 98億6,695万円(前年度比△3億1,188万円、△3.1%)
 - ↓ 市民税 44億4,999万円(前年度比△2億9,392万円、△6.2%)
 - ※住民税の定額減税による影響で、前年度より個人所得割の減収を見込む。
 - ↓ 固定資産税 40億5,322万円(前年度比△3,841万円、△0.9%)
 - ※3年ごとの評価替えによる影響で減を見込む。
- ↑ 実質的な普通交付税 39億2,015万円(前年度比+2億3,485万円、+6.4%)
 - ↑ 普通交付税 37億9,915万円(前年度比+3億8,495万円、+11.3%)
 - ↓ 臨時財政対策債 1億2,100万円(前年度比△1億5,010万円、△55.4%)
- ↓ 地方消費税交付金 18億2,607万円(前年度比△2,464万円、△1.3%)
- ↑ 繰入金 13億4,614万円(前年度比+1億9,546万円、+17.0%)
 - ↑ 財政調整基金 6億円(前年度比+1,000万円、+1.7%)
 - ↑ 特定目的基金繰入金 6億8,613万円(前年度比+1億8,446万円、+36.8%)
- ↑ 市債(建設事業債等) 30億6,650万円(前年度比+16億2,520万円、+112.8%)
 - ↑ 小中一貫校施設整備事業債 10億1,880万円(前年度比+9億6,130万円、+1,671.8%)
 - ↑ 新保健福祉施設整備事業債 6億6,230万円(前年度比+2億2,260万円、+50.6%)
 - ↑ 都市公園整備事業債 3億7,110万円(皆増)

(歳入予算額)

(単位:千円)

歳入科目	令和6年度		令和5年度		比較	増減率 (%)
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)		
1 市 税	9,866,953	32.0	10,178,834	36.6	△ 311,881	△ 3.1
2 地 方 譲 与 税	268,000	0.9	245,700	0.9	22,300	9.1
3 利 子 割 交 付 金	4,410	0.0	4,852	0.0	△ 442	△ 9.1
4 配 当 割 交 付 金	55,068	0.2	66,281	0.2	△ 11,213	△ 16.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	64,655	0.2	43,613	0.2	21,042	48.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	178,000	0.6	124,400	0.4	53,600	43.1
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,826,067	5.9	1,850,704	6.7	△ 24,637	△ 1.3
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	50,400	0.2	52,400	0.2	△ 2,000	△ 3.8
9 環 境 性 能 割 交 付 金	23,400	0.1	25,900	0.1	△ 2,500	△ 9.7
10 地 方 特 例 交 付 金	391,013	1.3	60,701	0.2	330,312	544.2
11 地 方 交 付 税	4,249,155	13.8	3,864,201	13.9	384,954	10.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,700	0.0	9,300	0.0	△ 1,600	△ 17.2
13 分 担 金 及 び 負 担 金	136,955	0.4	134,873	0.5	2,082	1.5
14 使 用 料 及 び 手 数 料	250,582	0.8	315,798	1.1	△ 65,216	△ 20.7
15 国 庫 支 出 金	5,517,965	17.9	4,668,123	16.8	849,842	18.2
16 県 支 出 金	2,079,210	6.7	2,074,465	7.5	4,745	0.2
17 財 産 収 入	35,054	0.1	15,245	0.1	19,809	129.9
18 寄 附 金	400,101	1.3	220,001	0.8	180,100	81.9
19 繰 入 金	1,346,135	4.4	1,150,673	4.1	195,462	17.0
20 繰 越 金	300,000	1.0	300,000	1.1	0	0.0
21 諸 収 入	539,977	1.8	517,036	1.9	22,941	4.4
22 市 債 債	3,205,200	10.4	1,846,900	6.7	1,358,300	73.5
建設事業債等	3,066,500	9.9	1,441,300	5.2	1,625,200	112.8
臨時財政対策債	121,000	0.4	271,100	1.0	△ 150,100	△ 55.4
借 換 債	17,700	0.1	134,500	0.5	△ 116,800	△ 86.8
歳入合計	30,796,000	100.0	27,770,000	100.0	3,026,000	10.9

(市税予算額)

(単位:千円)

区分	令和6年度		令和5年度		比較	増減率 (%)
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)		
市 民 税	4,449,992	45.1	4,743,907	46.6	△ 293,915	△ 6.2
うち個人(現年課税分)	3,824,826	38.8	4,116,644	40.4	△ 291,818	△ 7.1
うち法人(現年課税分)	602,132	6.1	596,766	5.9	5,366	0.9
固 定 資 産 税	4,053,224	41.1	4,091,633	40.2	△ 38,409	△ 0.9
うち土地(現年課税分)	1,204,786	12.2	1,204,106	11.8	680	0.1
うち家屋(現年課税分)	2,025,321	20.5	2,048,598	20.1	△ 23,277	△ 1.1
うち償却資産(現年課税分)	772,505	7.8	787,923	7.7	△ 15,418	△ 2.0
軽 自 動 車 税	226,910	2.3	229,209	2.3	△ 2,299	△ 1.0
市 た ば こ 税	555,254	5.6	529,472	5.2	25,782	4.9
都 市 計 画 税	581,573	5.9	584,613	5.7	△ 3,040	△ 0.5
合計	9,866,953	100.0	10,178,834	100.0	△ 311,881	△ 3.1

(注) 金額表示は、個々に四捨五入のため、合計欄の数値と一致しない場合がある。

歳出 小中一貫校施設整備事業により教育費の増加が顕著。森林公園リニューアル事業により土木費、システム標準化改修事業(住民情報基幹系、総合福祉、戸籍電算)により総務費は増。

(歳出予算額)

(単位:千円)

歳出科目	令和6年度		令和5年度		比較	増減率 (%)
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)		
1 議 会 費	228,887	0.7	228,823	0.8	64	0.0
2 総 務 費	4,041,748	13.1	3,543,837	12.8	497,911	14.1
3 民 生 費	11,416,031	37.1	10,930,434	39.3	485,597	4.4
4 衛 生 費	3,294,848	10.7	3,433,335	12.4	△ 138,487	△ 4.0
5 労 働 費	18,479	0.1	17,612	0.1	867	4.9
6 農 林 水 産 業 費	472,315	1.5	605,050	2.2	△ 132,735	△ 21.9
7 商 工 費	259,824	0.8	210,445	0.7	49,379	23.5
8 土 木 費	2,561,505	8.3	1,838,721	6.6	722,784	39.3
9 消 防 費	1,253,257	4.1	1,098,836	3.9	154,421	14.1
10 教 育 費	4,893,917	15.9	3,432,781	12.4	1,461,136	42.6
11 公 債 費	2,330,901	7.6	2,405,201	8.7	△ 74,300	△ 3.1
12 諸 支 出 金	39	0.0	33	0.0	6	18.2
13 予 備 費	24,249	0.1	24,892	0.1	△ 643	△ 2.6
歳出合計	30,796,000	100.0	27,770,000	100.0	3,026,000	10.9

↑ **総務費** 40億4,175万円 前年度比+4億9,791万円、+14.1%

システム標準化改修事業(住民情報基幹系、総合福祉、戸籍電算) 3億950万円(皆増)
 みらい育成基金費 2億296万円(前年度比+9,387万円、+86.0%)
 ふるさと龍ヶ崎応援事業 1億9,709万円(前年度比+9,127万円、+86.3%)

↑ **民生費** 114億1,603万円 前年度比+4億8,560万円、+4.4%

保育所等施設整備事業 2億9,813万円(前年度比+2億7,430万円、+1,151.2%)
 障がい者自立支援給付事業 14億2,847万円(前年度比+1億568万円、+8.0%)
 障がい児施設給付事業 2億7,425万円(前年度比+6,296万円、+29.8%)
 介護保険事業特別会計繰出金 10億1,900万円(前年度比+6,256万円、+6.5%)

↓ **衛生費** 32億9,485万円 前年度比△1億3,849万円、△4.0%

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 △5億7,576万円(皆減)
 龍ヶ崎地方塵芥処理組合負担金 8億4,230万円(前年度比△5,787万円、△6.4%)
 新保健福祉施設建設事業 8億7,819万円(前年度比+2億8,821万円、+48.9%)

↓ **農林水産業費** 4億7,232万円 前年度比△1億3,274万円、△21.9%

農業公園豊作村管理運営費 3,987万円(前年度比△1億6,479万円、△80.5%)
 ※「湯ったり館」の休館の影響による減
 生産調整推進対策事業 6,074万円(前年度比△464万円、△7.1%)

↑ **商工費** 2億5,982万円 前年度比+4,938万円、+23.5%

プレミアム付き商品券事業(市制施行70周年記念事業) 5,000万円(皆増)
 企業立地促進費 2,495万円(前年度比+933万円、+59.7%)

↑ **土木費** 25億6,151万円 前年度比+7億2,278万円、+39.3%

森林公園リニューアル事業 6億7,194万円(前年度比+6億6,685万円、+13,088.2%)
 市道第Ⅱ-18号線外整備事業 1億1,800万円(皆増)
 市道第3-373号線外整備事業 1億300万円(皆増)

↑ **消防費** 12億5,326万円 前年度比+1億5,442万円、+14.1%

避難所環境改善事業 8,109万円(皆増)
 稲敷地方広域市町村圏事務組合消防費負担金 9億2,380万円(前年度比+3,140万円、+3.5%)

↑ **教育費** 48億9,392万円 前年度比+14億6,114万円、+42.6%

小中一貫校施設整備事業 17億6,753万円(前年度比+16億9,775万円、+2,433.0%)
 龍ヶ崎中学校管理費 1億3,160万円(前年度比+1億1,117万円、+544.1%)
 ※外壁・屋根改修工事による増 +1億1,887万円(皆増)

↓ **公債費** 23億3,090万円 前年度比△7,430万円、△3.1%

※借換対象の元金最終一括償還額の減少による影響で減
 一般会計償元金償還費(借換を伴うもの除く) 22億359万円(前年度比+3,372万円、+1.6%)
 一般会計償元金償還費(借換対象一括償還分) 1,770万円(前年度比△1億1,680万円、△86.8%)
 一般会計償利子償還費 1億878万円(前年度比+878万円、+8.8%)

(注)金額表示は、個々に四捨五入のため、合計欄の数値と一致しない場合がある。

(2) 特別会計

① 国民健康保険事業特別会計

被保険者数の減少などを背景に、保険給付費が減少したことで、予算規模全体では縮小しています。

一方、県全体の保険給付費見込額などにより算出し、医療費水準・所得水準に応じて市町村に割り当てられる国民健康保険事業費納付金に高止まりの傾向が見られ、実質的な不足分を国民健康保険税では賄いきれず、税率改定を見込んでいます。また、支払準備基金の活用により、税率改定に伴う被保険者の負担増を最小限に抑えています。

歳入

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 国民健康保険税	1,464,520	1,319,957	144,563	11.0
2 一部負担金	2	2	0	-
3 使用料及び手数料	183	239	△ 56	△ 23.4
4 国庫支出金	1	1	0	-
5 県支出金	5,110,296	5,505,841	△ 395,545	△ 7.2
6 財産収入	64	87	△ 23	△ 26.4
7 繰入金	586,667	754,677	△ 168,010	△ 22.3
8 繰越金	1	1	0	-
9 諸収入	12,266	17,195	△ 4,929	△ 28.7
歳入合計	7,174,000	7,598,000	△ 424,000	△ 5.6

歳出

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 総務費	127,958	134,217	△ 6,259	△ 4.7
2 保険給付費	4,988,028	5,379,267	△ 391,239	△ 7.3
3 国民健康保険事業費納付金	1,962,259	1,988,517	△ 26,258	△ 1.3
4 共同事業拠出金	10	10	0	-
5 保健事業費	85,034	84,484	550	0.7
6 基金積立金	64	87	△ 23	△ 26.4
7 諸支出金	9,104	9,271	△ 167	△ 1.8
8 予備費	1,543	2,147	△ 604	△ 28.1
歳出合計	7,174,000	7,598,000	△ 424,000	△ 5.6

② 介護保険事業特別会計

高齢化の進展に伴う、要介護者の増加、介護期間の長期化などにより、予算規模は年々拡大しています。令和6年度は、介護保険料の改定年度に当たるため、歳入では、保険料が増加し、支払準備基金からの繰入金も減少しています。

歳出の保険給付費は、令和5年度同様、これまで大きな伸びを見せていた施設介護サービス給付費が落ちつき、代わって、居宅介護サービス給付費や地域密着型介護サービス給付費の伸びが顕著となっています。

歳入

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 保険料	1,670,130	1,437,876	232,254	16.2
2 使用料及び手数料	20	50	△ 30	△ 60.0
3 国庫支出金	1,153,497	1,084,210	69,287	6.4
4 支払基金交付金	1,645,391	1,524,709	120,682	7.9
5 県支出金	918,813	864,936	53,877	6.2
6 財産収入	46	61	△ 15	△ 24.6
7 繰入金	1,018,999	1,056,965	△ 37,966	△ 3.6
8 繰越金	1	1	0	-
9 諸収入	1,103	1,192	△ 89	△ 7.5
歳入合計	6,408,000	5,970,000	438,000	7.3

歳出

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 総務費	159,802	143,541	16,261	11.3
2 保険給付費	5,949,677	5,521,456	428,221	7.8
3 地域支援事業費	282,693	299,678	△ 16,985	△ 5.7
4 保健福祉事業費	1,736	0	1,736	皆増
5 基金積立金	11,002	61	10,941	17,936.1
6 諸支出金	1,504	1,504	0	-
7 予備費	1,586	3,760	△ 2,174	△ 57.8
歳出合計	6,408,000	5,970,000	438,000	7.3

③ 児童発達支援事業特別会計

機能を充実し、「児童発達支援センター」に移行することで、従来の「障がい児支援サービス事業」から、会計の名称が変更されるとともに、予算規模が拡大しています。

未就学児は無償で療育を受けることができるようになるほか、地域の中核的な施設として、公認心理師と保育士が常勤で配置される予定です。

歳入

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 サービス事業収入	35,780	17,866	17,914	100.3
2 繰入金	66,498	70,085	△ 3,587	△ 5.1
3 繰越金	1	1	0	-
4 諸収入	221	48	173	360.4
歳入合計	102,500	88,000	14,500	16.5

歳出

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 総務費	40,839	34,924	5,915	16.9
2 サービス事業費	61,233	52,576	8,657	16.5
3 予備費	428	500	△ 72	△ 14.4
歳出合計	102,500	88,000	14,500	16.5

④後期高齢者医療事業特別会計

団塊の世代の75歳年齢到達による被保険者の増加を背景に、保険料や療養給付費の伸びが顕著であり、その見合い分として納付する後期高齢者医療広域連合への納付金も同様に増加しています。これにより、公費の負担割合に応じた、一般会計からの繰入金も増加基調にあります。

保健事業費については、消費税対応により一般会計へ移行しました。

歳入

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 後期高齢者医療保険料	1,016,305	976,040	40,265	4.1
2 使用料及び手数料	10	34	△ 24	△ 70.6
3 繰入金	1,014,982	969,302	45,680	4.7
4 繰越金	1	1	0	-
5 諸収入	1,702	39,623	△ 37,921	△ 95.7
歳入合計	2,033,000	1,985,000	48,000	2.4

歳出

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 総務費	51,749	46,755	4,994	10.7
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,978,552	1,887,716	90,836	4.8
3 諸支出金	1,613	1,516	97	6.4
4 予備費	1,086	1,073	13	1.2
× 保健事業費	0	47,940	△ 47,940	皆減
歳出合計	2,033,000	1,985,000	48,000	2.4

(3) 下水道事業会計

収益的収支は、下水道施設の利用にかかる使用料などの収益や維持管理費、減価償却費などの費用で構成されます。収益的収入は一般会計補助金や下水道使用料の減収により、減少しました。収益的支出は、既存の下水道事業経営戦略の改定業務委託費及び下水道事業計画延伸のための改定業務委託費の新規計上、電力料金高騰による霞ヶ浦常南流域下水道維持管理費の増により、増加しました。

資本的収支は、施設の建設改良に要する財源の国庫補助金や企業債などの収入と建設改良費や企業債元金償還金にかかる支出で構成されます。資本的収入は、資本費平準化債発行可能額の拡充により、増加しました。資本的支出は、企業債の最終回償還分の償還額の増や、資本費平準化債拡充分の借入れに伴う償還額の増により、増加しました。

収益的収入

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 公共下水道事業収益	2,448,582	2,619,415	△ 170,833	△ 6.5
2 農業集落排水事業収益	48,685	49,683	△ 998	△ 2.0
収益的収入合計	2,497,267	2,669,098	△ 171,831	△ 6.4

収益的支出

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 公共下水道事業費用	2,354,749	2,310,937	43,812	1.9
2 農業集落排水事業費用	44,579	40,214	4,365	10.9
収益的支出合計	2,399,328	2,351,151	48,177	2.0

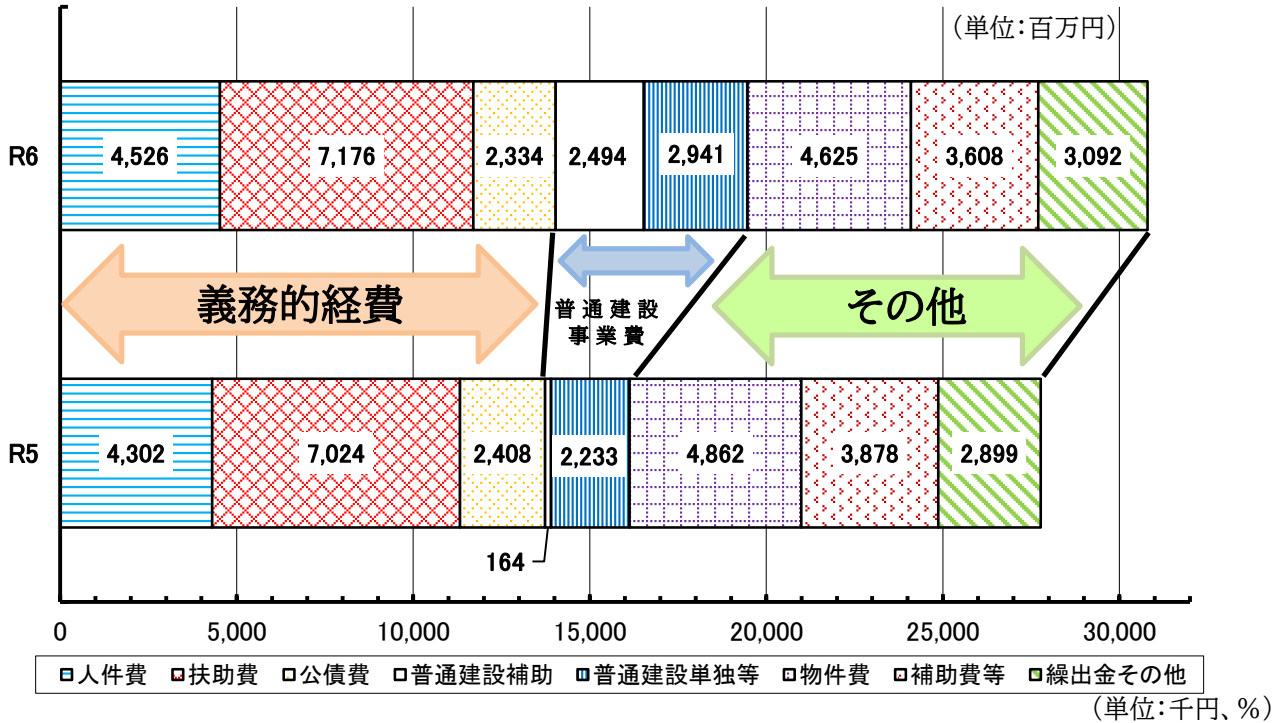
資本的収入

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 公共下水道事業資本的収入	796,023	549,818	246,205	44.8
2 農業集落排水事業資本的収入	45,586	40,801	4,785	11.7
資本的収入合計	841,609	590,619	250,990	42.5

資本的支出

款	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
1 公共下水道事業資本的支出	1,347,684	1,319,442	28,242	2.1
2 農業集落排水事業資本的支出	51,976	52,603	△ 627	△ 1.2
資本的支出合計	1,399,660	1,372,045	27,615	2.0

8. 性質別歳出予算の状況



区 分	令和6年度		令和5年度		比 較	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
義務的経費	14,035,550	45.6	13,733,687	49.4	301,863	2.2
人件費	4,525,773	14.7	4,302,235	15.5	223,538	5.2
扶助費	7,175,500	23.3	7,023,804	25.2	151,696	2.2
公債費	2,334,277	7.6	2,407,648	8.7	△ 73,371	△ 3.0
普通建設事業費	5,435,072	17.6	2,396,768	8.6	3,038,304	126.8
補助事業費	2,493,990	8.1	164,096	0.6	2,329,894	1,419.8
単独事業費	2,839,283	9.2	2,204,175	7.9	635,108	28.8
県営事業負担金	101,799	0.3	28,497	0.1	73,302	257.2
その他	11,325,378	36.8	11,639,545	42.0	△ 314,167	△ 2.7
物件費	4,625,038	15.0	4,862,479	17.5	△ 237,441	△ 4.9
維持補修費	250,137	0.8	236,544	0.9	13,593	5.7
補助費等	3,608,323	11.7	3,878,393	14.0	△ 270,070	△ 7.0
(うち一部事務組合に対するもの)	1,871,690	6.1	1,884,479	6.8	△ 12,789	△ 0.7
繰出金	2,578,603	8.4	2,493,229	9.0	85,374	3.4
積立金等	263,277	0.9	168,900	0.6	94,377	55.9
合 計	30,796,000	100.0	27,770,000	100.0	3,026,000	10.9

人 件 費・・・職員給与、特別職給与・報酬、議員報酬、会計年度任用職員報酬など

扶 助 費・・・障がい者自立支援給付、老人保護措置、医療福祉費、保育費、生活保護費など

公 債 費・・・市債償還費

普通建設事業費・・・小中学校施設整備、公園整備、道路改良、五省協定(※)立替施行償還金など

物 件 費・・・設備管理委託費、電算委託費、光熱水費、燃料費、通信運搬費、消耗品など

維持補修費・・・施設修繕費など

補助費等・・・一部事務組合への負担金、補助金、交付金、報償費など

繰 出 金・・・特別会計への繰出金(市負担分及び財源補てん分)

※五省協定:現・都市再生機構などが行う大規模な宅地開発等に伴う公共施設及び利便施設の整備に関する特例を定めた「立替施行」制度は、関係する5つの省(当時の建設省、大蔵省、文部省、厚生省、自治省)で了解され、制定されたことから「五省協定」と呼ばれています。

9. 一般財源の推移

(単位:千円、%)

項 目	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 決算見込額	令和6年度 予算額
1 市税	10,177,450	10,079,798	10,197,179	10,329,304	9,866,953
1 市民税	4,761,575	4,807,083	4,826,083	4,904,478	4,449,992
2 固定資産税	4,145,062	3,986,138	4,037,840	4,071,673	4,053,224
3 軽自動車税	195,946	202,929	215,003	219,984	226,910
4 市たばこ税	488,803	515,814	543,986	550,554	555,254
5 都市計画税	586,064	567,834	574,267	582,615	581,573
2 地方譲与税	261,949	266,049	264,037	270,967	268,000
1 地方揮発油譲与税	65,095	67,006	63,719	67,331	56,300
2 自動車重量譲与税	189,392	191,583	190,720	194,038	199,800
3 森林環境譲与税	7,462	7,460	9,598	9,598	11,900
3 利子割交付金	8,229	6,454	3,612	4,575	4,410
4 配当割交付金	39,363	61,480	52,428	63,932	55,068
5 株式等譲渡所得割交付金	54,687	73,189	41,473	43,613	64,655
6 法人事業税交付金	62,023	122,571	154,422	178,366	178,000
7 地方消費税交付金	1,607,185	1,749,256	1,810,291	1,779,309	1,826,067
8 ゴルフ場利用税交付金	42,335	47,869	49,184	48,619	50,400
9 環境性能割交付金	18,755	22,752	25,031	26,506	23,400
10 地方特例交付金	71,094	133,466	67,333	61,990	391,013
1 個人住民税減収補てん特例交付金	57,227	56,397	65,556	61,989	59,300
2 定額減税減収補てん特例交付金	-	-	-	-	331,712
3 自動車税減収補てん特例交付金	10,280	6,790	-	-	-
4 軽自動車税減収補てん特例交付金	3,587	2,707	-	-	-
5 固定資産税減収補てん特別交付金	-	63,568	1,777	1	1
6 都市計画税減収補てん特別交付金	-	4,004	-	-	-
11 普通交付税等	3,678,784	4,859,739	3,986,826	4,068,257	3,920,154
1 普通交付税	2,810,674	3,584,124	3,615,847	3,897,741	3,799,154
2 臨時財政対策債	868,110	1,275,615	370,979	170,516	121,000
12 特別交付税	1,136,758	608,447	609,660	450,001	450,001
1 特別交付税(通常分)	591,983	606,650	607,804	450,000	450,000
2 震災復興特別交付税	544,775	1,797	1,856	1	1
13 交通安全対策特別交付金	10,425	10,319	9,276	8,026	7,700
小 計	17,169,037	17,973,817	17,270,752	17,333,465	17,105,821
対前年度増減額	780,813	804,780	△ 703,065	62,713	△ 227,644
対前年度増減率	4.8	4.7	△ 3.9	0.4	△ 1.3
合 計	17,169,037	18,041,389	17,270,752	17,333,465	17,105,821
一般基金繰入(見込)額	422,381	93,876	125,981	420,703	1,346,134
うち財政調整基金	50,000	0	0	102,000	600,000
うち減債基金	150,000	0	0	59,000	60,000
一般基金残高(見込)	5,353,800	5,768,356	6,771,964	6,610,478	5,478,351

(注) 令和5年度決算見込額は推計額です。
基金繰入は積替えのための繰入を除きます。

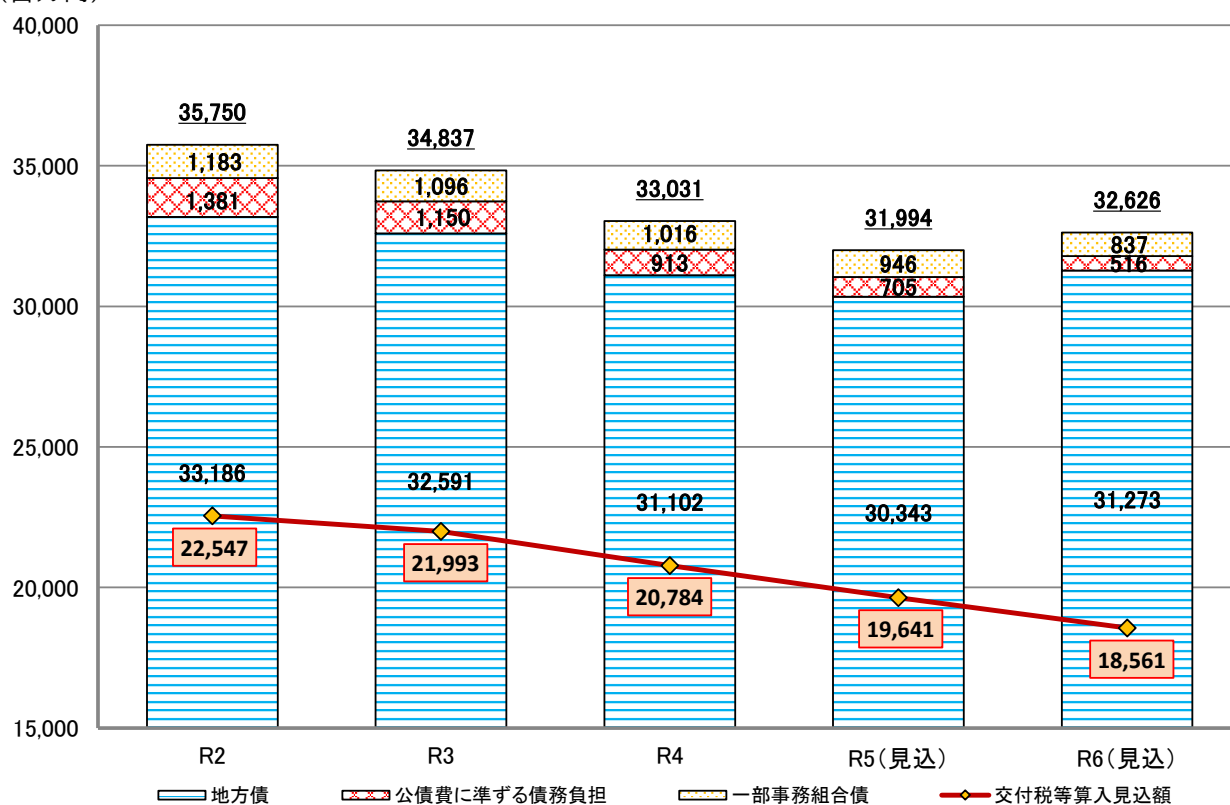
10. 将来の財政負担額の推移

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度 (見込)
1 地方債	33,185,487	32,591,189	31,102,286	30,342,774	31,273,047
一般会計債	22,408,888	22,623,727	21,962,939	22,064,880	23,574,318
公営企業債	10,776,599	9,967,462	9,139,347	8,277,894	7,698,729
下水道事業	10,776,599	9,967,462	9,139,347	8,277,894	7,698,729
2 公債費に準ずる債務負担	1,381,330	1,149,673	912,439	704,582	516,036
3 一部事務組合債	1,183,363	1,096,540	1,016,156	946,445	837,131
龍ヶ崎地方塵芥処理組合	872,087	789,641	707,160	624,643	542,091
龍ヶ崎地方衛生組合	0	0	0	0	0
稲敷地方広域市町村圏事務組合	311,276	306,899	308,996	321,802	295,040
合 計 A	35,750,180	34,837,402	33,030,881	31,993,801	32,626,214
交付税等算入見込額 B	22,546,565	21,992,960	20,783,763	19,641,049	18,561,163
実質負担額 A-B	13,203,615	12,844,442	12,247,118	12,352,752	14,065,051

※上記の将来の財政負担額は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)の規定に基づき算出したものです。

(百万円)



11. 引上げ分の地方消費税収(社会保障財源化分の地方消費税交付金)が 充てられる社会保障施策に要する経費

(歳入)

地方消費税交付金(社会保障財源化分) 1,037,401 千円

(歳出)

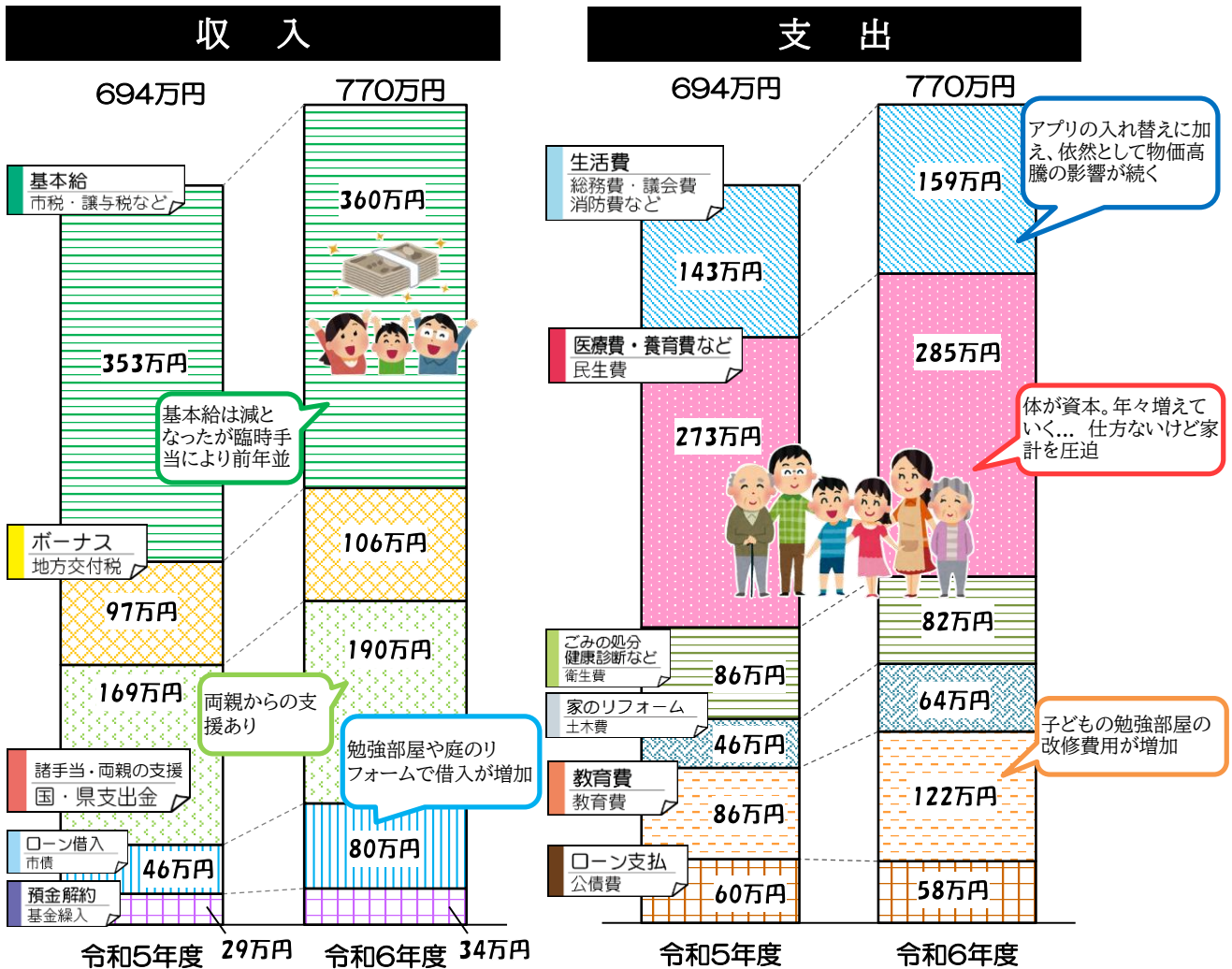
社会保障施策に要する経費 9,740,570 千円

(単位:千円)

事業名	経費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国庫 支出金	県支出金	その他	引上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の地方消費税交付金)	その他	
社会福祉	障がい者福祉事業	1,798,441	896,309	439,451	4,089	113,737	344,855
	高齢者福祉事業	17,063	0	0	2,531	3,604	10,928
	児童福祉事業	3,273,342	1,649,245	698,539	67,239	212,876	645,443
	母子福祉事業	265,461	88,407	0	0	43,912	133,142
	生活保護扶助事業	1,362,491	1,020,987	36,192	0	75,722	229,590
	小計	6,716,798	3,654,948	1,174,182	73,859	449,851	1,363,958
社会保険	国民健康保険事業	478,085	61,037	171,318	0	60,944	184,786
	介護保険事業	1,018,999	34,633	17,316	0	239,843	727,207
	後期高齢者医療事業	1,014,982	0	149,225	0	214,721	651,036
	小計	2,512,066	95,670	337,859	0	515,508	1,563,029
保健衛生	妊産婦医療費事業	19,947	0	8,893	2,032	2,238	6,784
	小児医療費事業	193,730	0	54,404	12,427	31,473	95,426
	母子等医療費事業	44,420	0	19,806	4,524	4,983	15,107
	障がい者医療費事業	202,366	0	90,229	20,610	22,700	68,827
	母子保健等事業	51,243	6,838	815	658	10,648	32,284
	小計	511,706	6,838	174,147	40,251	72,042	218,428
合計	9,740,570	3,757,456	1,686,188	114,110	1,037,401	3,145,415	

12. 一般会計予算を家計にたとえると

令和6年度の一般会計予算を4,000分の1にスケールダウンし、家計に例え、昨年度と比較しました。毎年4月から翌年3月までの1年間を区切りとしています。龍ヶ崎家は会社員のお父さん、パートのお母さん、子ども2人、お母さんの両親の6人暮らしです。



区分	令和5年度	令和6年度
預金(基金)残高	101万円	84万円
ローン(市債)残高	561万円	589万円

今年は龍ヶ崎家が築70年を迎える節目の年です！おめでたいo(>▽<*)o♪家族みんなでお祝いをしながら新たな年のスタートです。

お父さんの会社では、基本給の見直しがあり減額となったものの、会社から臨時手当が出たことで前年並みで落ち着きました。ボーナスについては増額となるので、給与全体としては前年よりもアップとなりそう。また、お父さんがリモートワークで使っているアプリの入れ替えをしましたが、会社がほぼ費用を負担してくれそうです。

おじいちゃんとおばあちゃんの医療費は年を重ねるごとに増加しています。健康維持にはどうしてもお金がかかります。最近はお出かけが減って家族から心配されていたおじいちゃんですが...安心して下さい！健康マイレージを活用してウォーキングを始めました。来年フィットネスルームが完成したら更に運動に力を入れていきたいと張り切っています。また、今年から带状疱疹ワクチン接種の助成が始まるとか。以前から気になっていたのも、おばあちゃんと一緒に接種しようと思っています。

体だけでなく、家のメンテナンスにも力を入れます。子どもたちがより勉強に集中できるように勉強部屋を改修です。孫のためにおじいちゃんとおばあちゃんが援助してくれました！ありがたくいただきます(;▽;)また、庭のリフォームも本格的に始まりました。リフォームが終わったら家庭菜園に挑戦したいというお母さんは、巷で話題のAIやロボットを活用した農業に興味津々です。栽培した野菜を新しくできたキッチンで早く料理したいと意気込んでいます。

物価高騰の影響が続く中、今年も預金の解約をしつつどうにか家計をやりくりしましたが、預金の減り具合にオトナたちはちょっぴりブルーです。さらに、勉強部屋や庭のリフォームなどにローンを借り入れたので、久しぶりにローンの残高は増えちゃいました。これからはまだまだいたるところでリフォームが必要となりそうですが、子どもたちへ将来の負担を残すわけにはいきません。アレもコレもとならないよう、お財布の紐をぎゅっとしめつつ、必要なものを見極めていかなければなりません。家族の笑顔と幸せが続くように、そして今年の干支の辰のように力強い家計を目指して、龍ヶ崎家今年も一致団結して頑張ります！

